



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-22年度RIテーマ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

国際ロータリー 第2780地区



## 寒川ロータリークラブ

事務所: 〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山7番地 サンワビル2F

TEL 0467(73)0046 FAX0467(74)0027

例会場: 寒川神社参集殿 例会日: 毎週 月曜日 18:30

会長 井上 稔 幹事 村松 一

会報委員(クラブ管理運営委員会)

鈴木正秋 石塚雄司 秋本茂雄 下里宏規 三澤京子 三留通男

### 第2207回例会 2022年4月18日(月) 曇りのち雨

司会 小澤副幹事

ゲスト 佐伯一郎様(青山学院大学名誉教授・弁護士)

メイクアップ【本日分】椎谷会員(北海道2500ロータリークラブ)

金子会員(平塚湘南SC)

#### 石越会長エレクトの時間

今日は井上会長がコロナに感染され自宅療養中ですので、代わりに会長エレクトの私がお挨拶させていただきます。次年度会長を務めるに当たり、練習の場を作ってくださった井上会長に感謝申し上げます。先週4/11第1回目の次年度理事会を開催し理事の皆さんのご承認いただきましたので、今日皆さんに次年度の組織表を配らせていただきました。年間プログラムにつきましては、各委員長に計画を出していただきスケジュールに盛り込んで皆様にお配りする予定です。今現在確定しているプログラムとしては10/17のガバナー公式訪問です。したがってその2週間前10/3に當間ガバナー補佐訪問となります。10/16(日)に地区大会が予定されており、16日、17日と連日になってしまいますが、ぜひとも予定を空けていただき皆様のご参加をいただきたいと思っております。そして次年度最大の事業であります創立50周年記念式典が2023年5月20日(土)です。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。さて、例年鎌倉で行われている「鎌倉まつり」はコロナ禍により諸行事は中止となりました。ただ、鶴岡八幡宮の舞殿での舞と、場所を境内から梶原の練習場に変え人数も関係者のみに限定し流鏝馬を行いました。その流鏝馬の練習場は将来鎌倉市役所が移転するという場所で、5年間は借用できることとなり、月に2回ほど寒川神社の職員も通っています。ちなみに寒川神社では2頭の馬を所有しています。梶原というところは藤沢に近く鎌倉のはずれで、なぜそんなところに鎌倉市役所が移転するのか?と聞いていましたら、神奈川新聞に藤沢と大船の間に「村岡新駅」という駅ができるという記事がありました。2032年

開業を目指しているとか。それに関連しての移転のようです。また、新東名高速道路の伊勢原大山IC~新秦野IC間が開通しました。大山へのお参りは本当に楽になることと思います。コロナ禍ではありますがいろいろなことがきちんと進んでいることに少なからず驚き、楽しみだなど、と思えました。寒川も何とか新幹線新駅の誘致などが少しずつでも進んでいくことを願っています。



#### 幹事報告

#### 例会変更

大和RC

#### 週報受理

台北士林、寒河江、各RC

#### その他受理

なし

#### 出席報告

会員数	出席計算会員数	出席会員数	暫定出席率	確定出席率
31名	30名	26名	86.67%	
本日欠席者	井上稔会員、秋本会員、清水会員、中野会員			

## 回覧

○ハイライトよねやまVol.265

※先週、例会時にお願いしたウクライナ難民支援募金は皆様のご協力により総額 30,000 円となりました。奉仕会計より拠出の 31,000 円と合わせて 61,000 円を地区に送金しました。ご協力ありがとうございました。

## 委員会報告・地区および地域出向者報告

なし

## 2207回スマイルボックス

合計22,000円

### ◎石腰会長エレクト・村松幹事

本日は井上会長がコロナ感染のため出席が叶いませんので代理を務めさせていただきます。卓話いただく佐伯先生には何卒よろしくお願い申し上げます。

### ◎三澤会員

5/29ロータリー奉仕デーのキャラバンで、本日寒川から第4グループ内各クラブを回ります。ご当地寒川でのいつものクリーンキャンペーンに合わせ実施しますので参加しやすいと思います。寒川は全員参加でお願いしたいと思っていますので、よろしくお願い申し上げます。

### ◎青木、石塚、磯川、井上(晋)、内野、大澤、小澤、菊地、椎野、下里、鈴木(郁)、鈴木(正)、高波、二見、山本(和)、山本(哲)、若菜、各会員

## 講師例会

鈴木正秋クラブ管理運営委員長よりご紹介

佐伯一郎様(青山学院大学名誉教授・弁護士)

テーマ:わが国の行方～私の気がかり

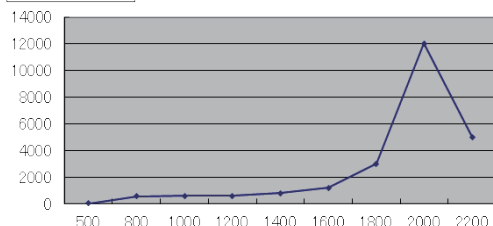


私の3つの気がかりについてお話しします。その3つとは、①少子高齢化②日本の財政状態③円安・インフレです。

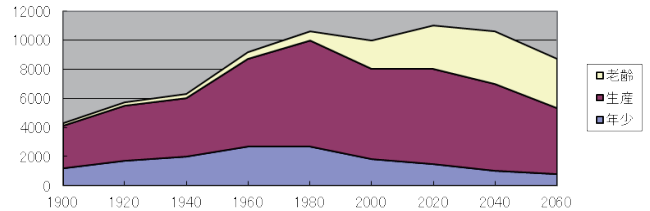
### ①少子高齢化

1)日本の人口:平安時代550万人、鎌倉時代600万人、江戸時代1200万人～3000万人、明治時代3500万人→1967年1億人突破→2010年1億2800万人。団塊の世代(1947年～1949年生まれ)＝約800万人です。2010年以降は急速に減少し、2065年8800万人、2100年6000万人になると予想されます。

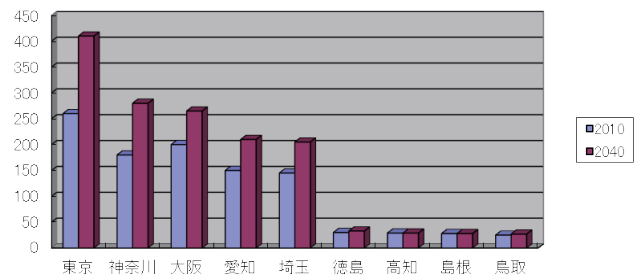
日本の人口



2)生産年齢人口(15歳～65歳)について。(15歳未満:年少人口、15歳～65歳:生産年齢人口、65歳以上:高齢人口)年少人口のピーク＝1955年。団塊の世代が年少人口。団塊の世代の子どもたち＝1980年頃年少人口増加、孫の時代は増加しない。生産年齢人口のピーク＝1995年。団塊の世代が働き手。団塊の世代が医療制度と社会福祉制度を手厚く受けている。そして2040年まで高齢者は増え続ける。

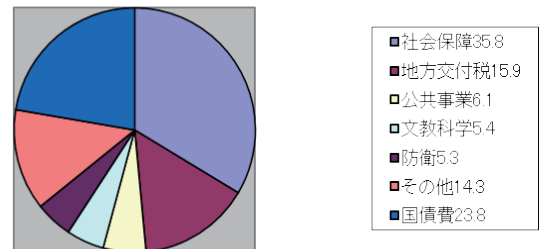


3)大都市圏の高齢化。2010年～2040年、東京都:270万人→410万人。神奈川県:100万人以上増加。埼玉県・千葉県:50万人以上増加。1960年～1970年代に地方から首都圏に移住してきた団塊が代の高齢化する。団塊の世代がリタイア→収入減少→住民税減少→大都市圏の自治体財政悪化となる。少子高齢化はわが国の将来の不安要素



### ②日本の財政状態

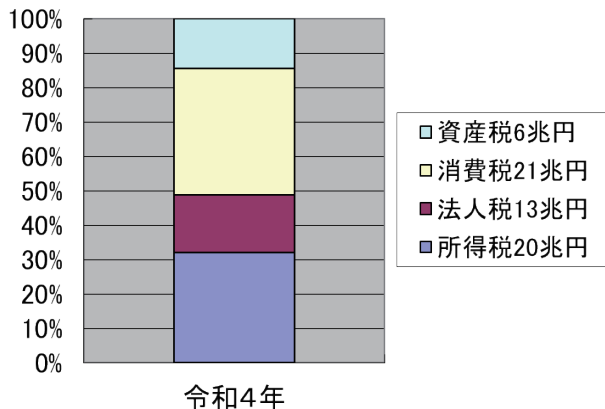
1)わが国の歳入・歳出。令和3年度:歳出106兆円、歳入63兆円(税込57兆円・その他収入6兆円)。サラリーマン生活:給料63万円、支出106万円。省庁別歳出:厚生労働省33兆円、財務省25兆円、総務省16兆円、国土交通省6兆円、防衛省5.3兆円、文科省5兆円、農水省2兆円、新型コロナ対策費5兆円、そして裁判所・・・0.3兆円。



歳入不足は国債発行で賄っている。国債発行残高(令和3年度末)1000兆円、利払費用は約10兆円。毎年の国債発行額140兆円(借換債が約100兆円)。サラリーマンの生活に例えれば、給料63万円、支出106万円、住宅ローン1200万円、毎月の赤字分と住宅ローンの元利払のため毎月140万円借りてくる生活。

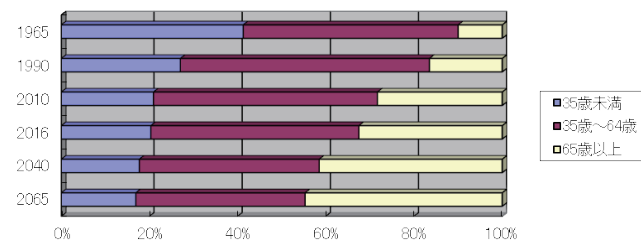
2)財政破綻。国債消化ができなくなると→財政破綻。北海道夕張市は2007年に財政破たんした。歳入:市民

税3000円→3500円、所得割税率6%→6.5%、固定資産税率1.4%→1.45%に。軽自動車税1.5倍等々。歳出：職員数269人→103人、一般職給与平均30%カット、特別職給与平均60%カット、市物件費を40%カット、観光事業会計閉鎖、私立病院機能縮小、小中学校削減、ゴミ収集の有料化・・・国のレベルでは、増税・公務員給与削減・社会保障費用大幅カットなどを実施できるのか。  
**3) 増税は可能か。** 歳入不足約40兆円を増税で賄うとすると、税の内訳＝所得税20兆円、法人税13兆円、消費税21兆円、資産税6兆円



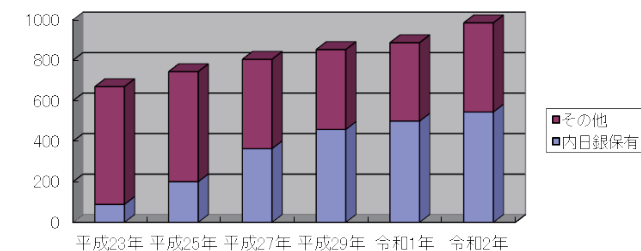
所得税：就業人口6700万人、うち給与所得者5245万人。給与所得者の源泉所得税→約10兆円(1人あたり24万円)。つまり、給与所得者のうち所得税を払っている人は4452万人。→約800万人の給与所得者は所得税を払っていない。給与所得者以外の1455万人が約10兆円負担しているということになります。所得税額の約8割を納税者の約1割＝高額所得者が負担。法人税：減税の継続。国内276万社のうち赤字法人181万社。法人税を払っている法人は35%。大企業は租税回避：ソフトバンク・営業利益2兆円、納税額は500万といったテクニクを持っている。消費税：消費税率10%、欧州は20%強。20%に増税すると約20兆円の財源ができる。  
**4) 歳出の削減。** 大きくできるのは社会保障費しかない。医療費：約40兆円＝保険料21兆円、患者窓口負担6兆円、公費13兆円。後期高齢者の医療費：9兆3000億円＝保険料1兆1000億円、患者負担1兆2000億円、公費7兆円。それ以外の者の医療費：30兆7000億円＝保険料19兆円、患者負担4兆7000億円、公費5兆8000億円。世代間格差は著しい。  
**5) 医療費の問題点。** 国民の間で医療の格差が生じることを認めていない。例えば、ガンの免疫治療薬オプジーボの治療費は1年間で数千万円、患者負担60万円程度、差額は公費負担。高度の医療を求める人には応分の負担を求める、医療にたくさんのお金を使いたいと考えている人にたくさんの保険料を負担させるしかない。  
**6) 政治的実現は可能か。** 消費税増税・社会保障費削減の政治的実現は可能か。選挙制度と有権者の年齢構成の問題がある。65歳以上の有権者＝1965年10%、1990年16.5%、2010年28.3%、2016年32.5%、2040年41.5%、2065年44.7%・・・。投票率は圧倒的に高齢者の方が高い。政治家は議席の最大化を狙う→高齢者の利益優

先、となると政治的実現は・・・。



### ③円安とインフレ

**1) 国債は誰が買うか。** 歳入不足を国債で賄う→赤字財政の国債を誰が買うか→日本銀行。2020年末の日本銀行の総資産724兆円、負債659兆円、純資産65兆円。6年間で340兆円資産増加＝過去9年間の財政赤字の累計額。日本銀行の保有国債523兆円(国債の半分)ちなみに、この国債の平均利回りは0.226%。



**2) FRBの金融引き締め。** 米国：インフレ加速、家賃・消費者物価上昇。ウクライナ侵攻→原油価格・穀物価格値上がり、米国の2022年1月のCPI(消費者物価指数)は前年同月比7.5%アップ！Amazonに組合が結成された。11月に中間選挙＝インフレ対策失敗するとバイデン民主党は敗れる。バイデン→FRB：金融引き締めを強く求める、FRBの保有資産の圧縮＝米国金利急上昇。2月1.7%→4月2.8%  
**3) わが国の場合、金融引き締めすると長期金利上昇。** 国債の利率が1%上がると、10兆円の利払費→1年目0.8兆円、2年目2兆円、3年目3.8兆円増える。黒田日銀総裁が金融緩和継続→長期金利を0.25%以下に抑えつける。長期金利を上げたくても財政上の問題から上げられない。  
**4) 日米金利差と円安。** 金利の低い通貨を売って、金利の高い通貨を買う＝円を売ってドルを買う。すると円安が進行。日米金利差1%広がると約8円程度の円安になる。円は20年ぶりに1ドル126円まで値下がりした。  
**5) 円安と株安。** 以前は、円安になると株高になった。戦後の日本は、鉄鋼・エレクトロニクス・自動車＝基幹産業で外貨を稼いだ。円安になれば輸出産業の利益が増える→株高。黒田総裁は「円安は経済成長率を押し上げる」といつている。今日では、多くの企業が海外に拠点を移し、日本の製造業は空洞化。GDPに占める製造業比率は1970年代35%、2010年代20%。円安になっても輸出が増えない＝円安メリットを享受できない。むしろ海外原材料価格上昇によるデメリットのほうが大きく、企業業績は悪化。このため、円安によって株安になる。  
**6) 円安とインフレ。** 原油と天然ガスのほとんどすべて



を輸入に依存している日本では、ウクライナ侵攻後、原油価格：ドルベース65%上昇、円ベース81%上昇。食料：カロリーベース自給率37%(生産額ベースでは67%)。徐々に物価が上がってきた。

7)円安と経常収支。資源や穀物はドル決済=円を売ってドルを買う。1\$130円で1バーレル130\$ならわが国の経常赤字は16兆円。経常収支が赤字の国の通貨は、どんどん弱くなる。こうしたことからさらに円安に向かうという悪循環が続く。

④これからどうなるか。少子高齢化・財政問題・円安、は関連しているが、解決方法は財政再建しかない。しかし、増税も歳出削減も難しい。今後30年は、大変な苦しみを受ける=石油も食料も満足に買えない生活になる。わが国を立て直すには、税制：直接税から間接税にシフト=消費税のウエイトを高め財政赤字を減らす。食料自給率を上げる：人口減少→食料自給率・エネルギー需給改善。産業構造の転換：農業・水産業を産業の中心に引き戻す。医療・社会保障：給付に見合う公平な負担、ということになるでしょう。

